

大学

文学部 教育学科

## 総合表現

浅田 まり子 教授

ミュージカルづくりに仲間と共に挑み、  
教員に必要な力を総合的に鍛える。



小学校教員と特別支援学校教員を養成する教育学科で、4年次に開講される「総合表現」。音楽教育が専門の浅田先生の指導のもと、学生が主体となって子ども向けミュージカルをつくり上げ、長久手市内のホールで上演する、実践を重視した専門科目です。今年度は25人が受講。約1年かけて、台本・楽譜作成、大道具や衣装の制作、演技や合唱・演奏の練習などに励み、公演1か月前から通し稽古も重ねました。その日々を通して養われるのが、教員に求められる総合力。浅田先生は「学生全員がリーダーであり主役という意識を持ち、全体を見渡して自ら行動することを大切にしています。仲間と互いに切磋琢磨する中で、言語、音楽、身体運動、造形などの表現力、指導力、企画力、協調性などが自然と鍛えられるのです」と語り、卒業後、教育現場に羽ばたく一人ひとりのさらなる成長を後押ししています。

# 愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

大学

健康医療科学部 医療貢献学科 視覚科学専攻

## 視能矯正学演習

田邊 宗子 教授、稻垣 尚恵 准教授、望月 浩志 准教授、  
梅田 千賀子 講師、浅野 亮子 講師、馬場 美良子 准教授

臨床実習や将来を見据えて、  
眼科検査の専門性と医療人の姿勢を培う。

視覚科学専攻では、視機能検査や弱視や斜視の訓練、視覚障がいのある人々への支援を担う「視能訓練士」の養成に力を入れています。2年次後期に開講される「視能矯正学演習」は、眼科の基本となる検査の実技科目。医療現場で実際に使用される機器を扱いながら、学生が検査と被検者に分かれて視力検査、視野検査、眼位・両眼視検査、電気生理検査などを取り組みます。眼科検査に関する専門知識・技術の実践はもちろんのこと、患者さんへの声掛けや対応などのシミュレーションも重視。医療人に必要な姿勢や心構えを学ぶ場になっています。この演習を皮切りに、学生は数多くの学内実習で力を磨き、3年次と4年次には計16週間の臨床実習へ。担当教員の一人である田邊先生は「さまざまな患者さんと向き合い、チーム医療で力を発揮できる、そんな視能訓練士をめざして一步ずつ前進してほしい」と学生の指導に心を注いでいます。

